

令和五年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

共通選抜 全日制の課程（追検査）

## Ⅱ 国 語

### 注 意 事 項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は **問五** までであり、1ページから14ページに印刷されています。
- 3 解答用紙の決められた欄に解答しなさい。
- 4 数字や文字などを記述して解答する場合は、解答欄からはみ出さないように、はつきり書き入れなさい。
- 5 マークシート方式により解答する場合は、選んだ番号の○の中を塗りつぶしなさい。
- 6 解答用紙にマス目（例：

--

）がある場合は、句読点などもそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点などを一緒に置かず、句読点などは次の行の最初のマス目に書き入れなさい。
- 7 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

受 検 番 号

番

問一 次の問いに答えなさい。

(ア) 次の a ～ d の各文中の——線をつけた漢字の読み方として最も適するものを、あとの 1 ～ 4 の中から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

- a 小説が翻訳される。 (1) はんやく 2 ほんやく 3 ほうやく 4 ばんやく ( )
- b 収支の均衡を保つ。 (1) きんじょう 2 きんごう 3 きんしょう 4 きんこう ( )
- c 不正に憤慨する。 (1) ぶんぎ 2 ぶんげき 3 ふんがい 4 ふんき ( )
- d 落ち葉が湿っている。 (1) のこ 2 たま 3 しめ 4 ぬか ( )

(イ) 次の a ～ d の各文中の——線をつけたカタカナを漢字に表したとき、その漢字と同じ漢字を含むものを、あとの 1 ～ 4 の中から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

- a 地域社会の発展にコウケンする。
    - 1 書店で参考になるブンケンを探す。 2 監督と選手をケンニンする。
    - 3 批判をケンキョに受け止める。 4 そば屋でシヨッケンを買う。
  - b 新聞に広告をケイサイする。
    - 1 散歩の途中でキュウケイをとる。 2 壁に貼られたケイジをはがす。
    - 3 ケイサツが商店街を巡回する。 4 新幹線のモケイを作る。
  - c 横笛が美しいセリツをかなでる。
    - 1 商品のセンデンをする。 2 オンセンに入って疲れを癒やす。
    - 3 センスを使って風を送る。 4 飛行機が上空をセンカイする。
  - d 強豪との試合にイドむ。
    - 1 記録の更新にチヨウセンする。 2 音楽を聞いてキンチヨウをほぐす。
    - 3 コウバイの急な坂道を登る。 4 司会がゲンコウを読む。
- (ウ) 次の俳句を説明したものとして最も適するものを、あとの 1 ～ 4 の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

(著作権上の都合により省略)

篠原 鳳作

- 1 広大な海を自分たちが作った船で渡り切ろうと試行錯誤する中で、ともに旅をする人々のきずなが深まっていくさまを、「しんしんと」と擬態語を用いることで強調して描いている。
- 2 船旅をしているときに感じた、大空と大海原の鮮やかな碧さが目に映るだけでなく体の奥にまでしみこんでいくような感覚を、「肺碧きまで」という語句によって象徴的に描いている。
- 3 船旅の最中に空を見上げ、一面に広がる空の色が単一ではなく多様な色を含んでいることに気づいて生まれた感動を、青ではなく「碧」という漢字を用いることで効果的に描いている。
- 4 広い海を船で横断する旅が、晴天に恵まれただけでなく幸運がたび重なって順調に進んでいるということを、「たび」とひらがなで表記し多義性をもたせることで印象的に描いている。

問二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

江戸時代、船頭を務める「松右衛門（松どん）」は、新たな船を作ることになった。「松右衛門」は、大名相手に金を貸す商家「升屋」で商人として成功を収めている同郷の幼なじみの「惣五郎」を訪れ、久しぶりに再会した。

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(玉岡<sup>たまおか</sup> かおる「帆神」から。一部表記を改めたところがある。)

(注) 大坂<sup>おおさか</sup> 現在の大阪。

伊達藩 現在の宮城県を領有していた藩。藩主は伊達氏。あとに出てくる「仙台藩」と同じ藩。

田沼様 田沼意次<sup>たぬまおきつぐ</sup>。江戸時代中期の幕府老中(一七一九〜一七八八)。

蝦夷地 明治時代以前の、北海道・樺太<sup>からふと</sup>・千島の総称。

なまくらぶり<sup>なまくらぶり</sup> だらしのなさ。

辟易<sup>ひやくいつ</sup> うれざりすること。

浪華 現在の大阪市近辺。

松平定信 江戸時代後期の幕府老中(一七五八〜一八二九)。

ジョルダノ・ブルーノ イタリアの哲学者(一五四八〜一六〇〇)。

書割 芝居の大道具の一つ。紙に建物や風景などを描いたもの。

牛頭丸 「松右衛門」の幼名。

高砂 現在の兵庫県にある地名。

(ア) —線1「何も口を挟まないが、松右衛門もわかっていた。」とあるが、そのときの「松右衛門」を説明したものと最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 与えられた役割をこなすだけで、新しい世の中に対応しようとする意識に欠けているさむらいたちに不信感を持つ「惣五郎」の考えに共感している。

2 役人の仕事に必死に取り組んで時代の変化に対応しなければならぬと、危機感を強めるさむらいたちを見直した「惣五郎」の考えに納得している。

3 新田の開発や貿易の拡大ばかりに興味を持ち、自らが担当する仕事に取り組もうとしないさむらいたちにあきれる「惣五郎」の考えを理解している。

4 貨幣経済の重要性に気づいていながらも現状に満足して行動を変えようとしないうさむらいたちに不満を持つ「惣五郎」の考えに同意している。

(イ) —線2「それでも思っていないと、やってられん。」とあるが、そのときの「惣五郎」を説明したものと最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 さむらいたちと働くことは精神的な負担が大きいが、幕府の重臣から認められた経済に関する知見は、仕事を通して身につけたものだとすることを思い出して、仕事に意義を見いだそうとしている。

2 さむらいたちを相手にする自身の仕事は、苦勞が絶えないが経済の流通に欠かせないものであり、多くの人々の生活を支えていると自らに言い聞かせることで、仕事へのやる気を保とうとしている。

3 さむらいたちと働いたときに気を遣わなければいけないが、ともに仕事をすれば、さむらいたちと同じくらい経済の流通に携わることができる自分を励ますことで、仕事をやり遂げようとしている。

4 さむらいたちとかかわりながら貨幣を国中に行き渡らせる自身の仕事は、品物を運ぶだけの船乗りよりも、気疲れはするが世の中を回す力があると考えて、仕事への熱意を維持しようとしている。

(ウ) —線3「立ち上がって空を見上げた。」とあるが、そのときの「松右衛門」を説明したものと最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 今は見えない星々や未知の生物である地球外生命について語る「惣五郎」の考えに圧倒されるとともに、過去にも同じようなことがあったと思いついている。

2 「惣五郎」が一藩の財政を動かすという多忙な業務を行いつつも夢を見失っていないことに衝撃を受け、幼い頃から尊敬に値する人物だったと振り返っている。

3 「惣五郎」が大人になっても学問に対して強い思いを抱いていることに戸惑ったものの、子供の頃から勉学への意欲は誰よりも高かったと振り返っている。

4 地球外生命という常識外れなものの存在を信じこんでいる「惣五郎」の思考に不安を感じ、以前にも似たような気持ちになることがあったと思いついている。

(五) —線4「風が吹けば板のように強く、人が扱うときには羽のように軽い。そんな帆が、みつからん。」とあるが、「こ」での「松右衛門」の気持ちをふまえて、この部分を朗読するとき、どのように読むのがよいか。最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 理想の船を作る上での見通しが甘かったことを痛感し、丈夫で扱いやすい帆の入手方法について深く検討するべきだったという後悔の念を込めて読む。
- 2 自らが望んでいる帆は絵の中にしか存在しない空想の産物であり、理想の船を作ることは不可能に違いないと落ち込んだ気持ちを隠すように読む。
- 3 自らの考えを結集させた理想の船を作るという夢を抱いているが、思い描く帆が現実の世界で見つからないことへのもどかしい気持ちを込めて読む。
- 4 理想の船に見合う帆がいくら探しても手に入らず、船を作るために重ねてきた苦労が無駄になったことに対していら立つ感情をぶつけるように読む。

(六) —線5「船頭として各地の港へ船で物を運んで店や一統を養うことが『地』の仕事なら、これは多くの人々を潤す『天』の仕事になるかもしれない。」とあるが、その説明として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 船頭の仕事は店や同郷の人々の生活を守るためのものだが、画期的な帆を使った船の仕事は店で働く人々を今までよりも裕福にできるのではないかということ。
  - 2 船頭の仕事は近くに住む人々に物品を届けるものだが、幻の船の絵を描いて広める仕事は遠い場所に住む人々にまで影響を与えられるのではないかということ。
  - 3 船頭の仕事は港を日々利用する人々だけに恩恵を施すものだが、新たな船を世の中に送り出す仕事はすべての人々に利益をもたらすのではないかということ。
  - 4 船頭の仕事は身近な人々の生活を支えることができるものだが、幻の帆を載せた船を具現化する仕事は広く世の中の人々を豊かにするのではないかということ。
- (七) この文章について述べたものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
- 1 さむらいが権力を振るう今の世の中について分析する中で、一生をかけて成し遂げたいことができた「惣五郎」に触発されて、夢を探し始める「松右衛門」の姿を、会話を中心に描いている。
  - 2 商売の実情を共有しつつそれぞれの夢を打ち明ける中で、「惣五郎」から助言を受け、理想の帆が見つからないという悩みを解決する「松右衛門」の姿を、当時の情勢をふまえて描いている。
  - 3 さむらいの現状についての批判をしつつ互いの思いを率直に語り合う中で、「惣五郎」からの激励を受け、自身の夢に対する気持ちを新たにする「松右衛門」の姿を、回想を交えて描いている。
  - 4 世の中の経済から自分たちの夢へと会話の内容が展開する中で、天文の本を書き始めた「惣五郎」の話の聞き、船作りへの思いを強める「松右衛門」の姿を、史実を随所に挟んで描いている。

問三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(著作権上の都合により省略)



(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(山竹<sup>やまたけ</sup> 伸二<sup>しんじ</sup>「共感の正体」から。一部表記を改めたところがある。)

(ア) 本文中の  A  B に入れる語の組み合わせとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- |          |       |         |        |
|----------|-------|---------|--------|
| 1 A または  | B ただし | 2 A まるで | B その上  |
| 3 A ところで | B もし  | 4 A しかも | B たとえば |

(イ) 本文中の~~~~線Ⅰの語の対義語として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 確実	2 整理	3 単純	4 縮小
------	------	------	------

(ウ) 本文中の~~~~線Ⅱの「に」と同じ意味で用いられている「に」を含む文を、次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 近所の公園に集合する。 | 2 図書館で静かに本を読む。 |
| 3 ついに目標を達成した。 | 4 走ったのに追いつけない。 |

(エ) —線1「言葉による相互理解がなければ、共感とは独善的な他者理解に陥ってしまう可能性があるのだ。」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- |                                                                   |                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 1 人間は、共感によって理解した感情が正しいかどうかを、言葉で相手に確認するという経験を積むことで、共感の精度を上げているから。  | 2 人間は、自身の共感が正解だったかどうかを、言葉を用いて一人で振り返るという作業を繰り返すことで、共感の精度を高めているから。  |
| 3 人間は、怒りや苦しみといった動物が理解できない感情を、相手と言葉をやりとりして伝え合うことで、共感の精度を向上させているから。 | 4 人間は、動物が長い時間をかけて細分化してきた感情を、言葉を用いて微妙な違いまで共有することで、共感の精度を引き上げているから。 |

(オ) —線2「人間に特有な共感」とあるが、それを説明したものととして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- |                                                                               |                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 1 人間が、現在の他者の様子や境遇を分析するとともに、未来の世界での他者の内面まで想像し、他者の感情がこの先どのように変化するか推理することで生じる共感。 | 2 人間が、他者の内面について想像力を働かせ、他者の状況を考慮しながら思考や感情を推理した結果、他者と自身が同じ文化を共有していると気づくことで生じる共感。 |
| 3 人間が、他者の置かれた状況をふまえつつ、内面を想像して他者の抱く感情や考えを推理し、導き出したものの中に自身と共通する要素を発見することで生じる共感。 | 4 人間が、感情を同期させて他者の感情状態に完全に入り込んだ上で、内面を想像し心の動きを推理した結果、自身と他者に重なるものを見つけて生じる共感。      |

(カ) —線3「認知的共感は利他的行為をより適切な方向へ導く力を持っている。」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 想像力や推論を用いなくても相手が苦しんでいるのに気づくことはできるが、認知的共感が生じれば、相手の感情を把握するだけでなく、苦しみを緩和しようと慰めることもできるようになるから。
- 2 感情が同期するだけでも相手を助けようとする行為は発生するが、認知的共感が生じれば、相手の立場や状況に応じた行動が取れ、あまり感情的にならずに対応することもできるようになるから。
- 3 他者の視点に立つ力がなくても相手を手伝おうとする行動は起きるが、認知的共感が生じれば、相手の事情を想像できるようになり、助けるための方法についても深く考えられるようになるから。
- 4 相手の気持ちを感じとるだけで相手の立場や状況を考慮して援助することは可能だが、認知的共感が生じれば、想像力や推論する力を活用して、より効果的な支援策を見つけられるようになるから。

(キ) —線4「共感とは『偽りの自分』を演じる苦しみから解放し、無条件の承認の実感を与えるのである。」とあるが、筆者がそのように述べる理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 苦しむ人間に共感することによって、苦しみの原因となつている問題が解決されるとともに、相手の心を軽くし「ありのままの自分」を受け容れられる状態に変えることができるから。
- 2 自分だけが苦しんでいると思ひこんでいる人間に共感することによって、苦しみを感じているのは自分一人ではないことを理解させ、相手の気持ちを落ち着かせることができるから。
- 3 自分について悩みを抱え苦しんでいる人間に共感することによって、「ありのままの自分」を受け容れなくてもいいということに気づかせ、相手の悲嘆を軽減することができるから。
- 4 苦しみを感じている人間に共感することによって、存在自体が受け容れられたという感覚を与えるとともに、相手の負の感情を緩和したり気持ちを明るくしたりすることができるから。

(ク) —線5「共感によって自己了解が促された」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 人間は、気持ち落ち着かないときに共感してくれる相手に相談すると、自分よりも感情の意味を理解して言語化してくれるので、自分の感情をわかってくれたと感じるということ。
- 2 人間は、不安を抱えているときに共感に基づいたふるまいや言葉がけをされると、安心感が生まれ自分と向き合えるようになり、本当の気持ちを自覚できるようになるということ。
- 3 人間は、自分自身に向き合う余裕がないときに相手から言葉や態度で共感を示されると、自分の感情は正しい反応であり、周囲の理解を得られたという自信が生まれるということ。
- 4 人間は、辛いときに共感的な言葉や態度に接すると、どんな自分でも受け止めてもらえると感じ、それまで隠していた自分のよくない思考についても話せるようになるということ。

(ケ) 本文について説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 人間が言葉や認知能力によって共感する力を発達させてきたことを指摘した上で、共感の精度をさらに高める方法について、動物の情動的共感の例を参考にしながら論じている。

- 2 人間の利他的行為は共感が動機となっていることを分析するとともに、人間が他者を優先させることで自身の感情を見失っていることについて、動物との比較を通して論じている。

- 3 人間と動物の共感の特徴をそれぞれ示すとともに、共感が人間の内面を変化させることについて、共感によって仲間意識が強まり文化が形成された歴史を根拠にして論じている。

- 4 人間と動物の共感の違いを明らかにした上で、共感が人間の心理や行動にどのような影響を及ぼすのかについて、共感する側だけでなく共感される側の視点からも論じている。

問四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ある人曰はく、「世に金をもて尊しとして、人々これを得んことを欲するといへども、金はただ一時の用を達するものにして、元より身を養ふ所以に<sup>ゆえん</sup>あらず。およそ金銀銅鉄鉛の類、品々ありといへども、鉄をもて極最上のものとすべし。そのゆえは、人は衣食住をもて急務とす。鉄なくしては耕すの具なし。

耕さざれば食を欠く。また宮室を営むにも木を切り釘をもつてつくる。鋸<sup>のこぎり</sup> 鉋<sup>かん</sup> 鑿<sup>のり</sup> 錐<sup>のみきり</sup>の類、鉄にあらざればかなふべからず。鍋釜もまた鉄なり。魚鳥を割くは包丁をもつてす。おのおの鉄にあらざるはなし。

されば鉄の尊きこと限りなく、金銀なんぞ鉄の功に及ばん。しかれども金銀をもて上とし、これに次ぐに

鉄をもつてするものは、金銀は元無用なり。鉄にもならず包丁にもならず、用ゆるところなきによりて、

世上の通用交易の道を彼に任し、有用の鉄をもて価を低くし、もつて万民の用を弁せしむ。もしまた鉄を

して金銀のごとく尊からしめば、穴居するにも穿つことかなはず。香の物は引き裂き食らふべし。」とて

笑ひけり。これ一理ありて面白し。

さはあれ案ずるに、これを人事の上に比ぶれば、金は尊くして王公大人なり。銀はこれに次ぎて士大夫のごとし。銅鉄またこれに次ぎて、いはば農民のごときものならん。農夫よく五穀をつくり、婦は蚕事を

つとめて絹布をつくり、もつて王公大人の衣服食料に充つる。しかればこれをつくるもの尊しといへども、

なほ王公貴人にしかず。孟子の説に、「君子なくんば野人を治むること能はず。野人なくんば君子を養ふ

ことなし。」と言ひけむ。また宜ならずや。

(「太平樂皇国性質」から。)

(注) 香の物 漬け物。

王公大人 身分が非常に高い人。あとに出てくる「王公貴人」と同じ意味。

士大夫 官職に就いている人。

蚕事 養蚕を行うこと。

孟子 中国の思想家(前三七二頃～前二八九頃)。

野人 一般の人。

(ア) —線1「鉄をもて極最上のものとすべし。」とあるが、「ある人」がそのように言った理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 鉄は他の金属よりも安く手に入れられるにもかかわらず、道具に加工すると高値で取り引きされるから。

2 鉄は道具の材料や交易の手段などに使われて用途が幅広く、人々が手に入れたいと思っっている金属だから。

3 鉄は人間が生きるために不可欠な道具の材料になるものであり、数ある金属の中で最も功績が大き  
いから。

4 鉄は人々の生活と密接に関わっている金属で、鉄製の道具をつくる仕事に就くと暮らしが安定する  
から。

(イ) —線2「これ一理ありて面白し。」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中  
から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 金や銀は希少な金属であるため日常的に扱う道具の材料として使われず、生活に必要な道具をつく  
る際には大量に入手できる鉄が用いられているという「ある人」の意見に納得したということ。

2 金や銀は道具の材料に適さないから通貨として用いられるようになり、鉄は役に立つ金属だから  
人々が広く活用できるように価値を低くされたという「ある人」の意見に感心したということ。

3 鉄は金や銀ほどの魅力がないとされ所有者も非常に少ないが、もし鉄の価値が高まっていたら鉄製  
の道具は人気が上がり世の中に普及したはずだという「ある人」の意見に同意したということ。

4 鉄と比べると金や銀は道具の材料に不向きだとされているが、金や銀は通貨に用いられるほど加工  
しやすく道具の材料として使えるはずだという「ある人」の意見に興味をもったということ。

(ウ) —線3「銅鉄またこれに次ぎて、いはば農民のごときものならん。」とあるが、それを説明したも  
のとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 農民が王公大人の生活を支えているように、銅や鉄は金や銀ほど価値が高いものではないが、人々  
の暮らしを成り立たせる上で大切な金属だということ。

2 王公大人がいなくなると農民の生活は苦しくなるように、銅や鉄は金や銀とともに用いないと価値  
が低下するため、重要な金属とはいえないということ。

3 農民の仕事の目的は王公大人を補佐することであるように、銅や鉄の役割は金や銀のはたらしの補  
助にすぎず、金属としての価値は低いということ。

4 王公大人にとって農民が重要な役割を果たしているように、銅や鉄は人々に必要とされる機会が多  
く、金や銀と同じくらい価値のある金属だということ。

(エ) 本文の内容と一致するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 どの金属にも有用性があることを確認したあとに金属を人間社会になぞらえることで、「孟子」の  
説にあるように、すべての人間に価値があるので、立場の違いをつくる必要はないと述べている。

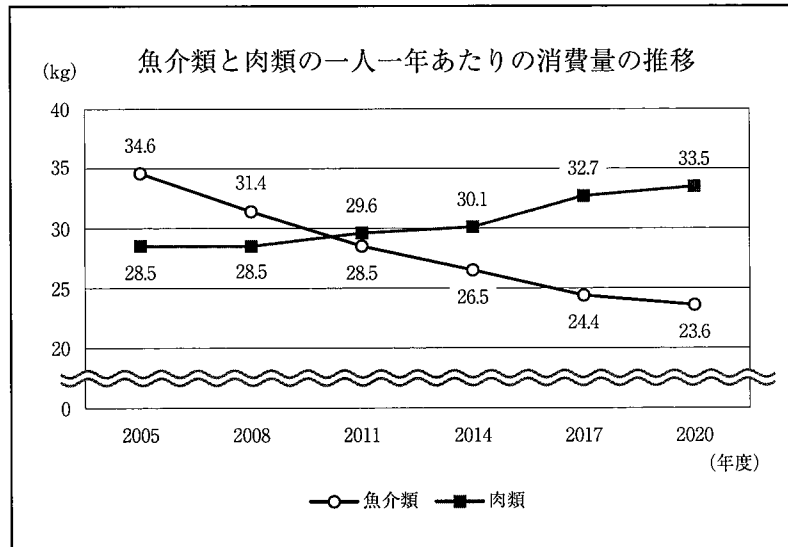
2 金属の価値を整理してから人間社会の仕組みについて分析することで、「孟子」の説にあるように、  
君子が野人を統治するには、鉄ではなく金や銀を多く所持していることが重要だと述べている。

3 金属の有用性を検討しながら金属を人間社会に置き換えて考えることで、「孟子」の説にあるよう  
に、野人は君子よりも価値ある存在であり、君子と野人の立場を入れ替えるべきだと述べている。

4 金属の価値について考えた上で金属と人間社会のありさまを結びつけることで、「孟子」の説にあ  
るように、立場の違う人々それぞれに役割があり、どの立場も欠くことができないと述べている。

問五 中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人のグループは、「総合的な学習の時間」で行われる発表に向けて、日本の食生活について調べ、話し合いをしている。次のグラフ1、表、グラフ2と文章は、そのときのものである。これらについてあとの問いに答えなさい。

グラフ1



農林水産省「食料需給表」より作成。

Aさん 私たちは、日本の食生活に関する発表に向けて、主菜を中心に調べてきました。その中で、日本には魚介類を主菜として食べる文化が昔からあることがわかりました。

Bさん 自分の家の食事を思い浮かべると、主菜として肉類を食べることが多い気がします。日本では実際に、魚介類がどのくらい消費されているのでしょうか。

Cさん それではグラフ1を見てください。魚介類と肉類の消費量の推移をそれぞれ示したものです。これを見ると、ことがわかります。

Dさん 全体を見ると、魚介類の消費量は減少してきているんですね。

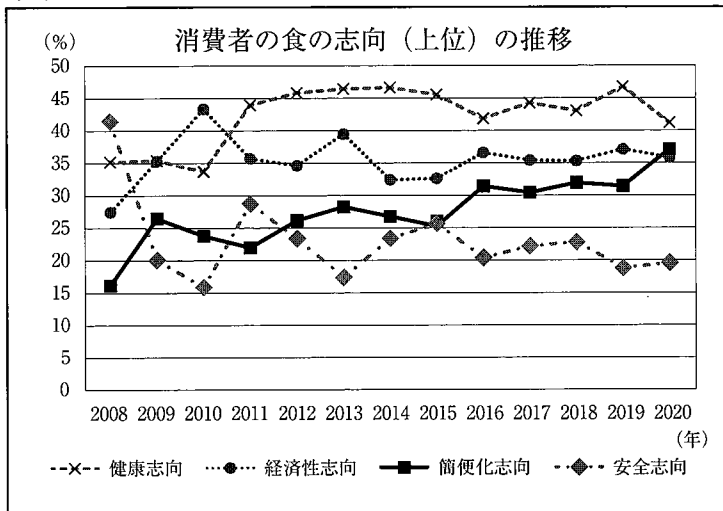
Bさん このままだと、魚介類を主菜として食べる日本の文化が守れなくなってしまう。

Aさん そうですね。魚介類の消費量を減少させないようにするにはどうしたらいいでしょうか。

Dさん そのことについて考えるために、表を見ててください。これは魚介類に含まれる主な機能性成分についてまとめたものです。これを見ると、脳の発達を促進したり、免疫機能を向上させたりする効果が期待できる成分が、魚介類には含まれているということがわかります。

Cさん つまり、魚介類を食べることは健康維持に役立つんですね。文化を守ることだけでなく、健康のことを考えても、魚介類をもっと食べた方がよさそうです。

グラフ2



日本政策金融公庫「消費者動向調査」より作成。

表

水産物に含まれる主な機能性成分		
機能性成分	期待される効果	多く含む魚介類
DHA	脳の発達促進、認知症予防、視力低下予防、動脈硬化の予防改善、抗がん作用等	クロマグロ脂身、スジコ、ブリ、サバ
EPA	血栓予防、抗炎症作用、高血圧予防等	クロマグロ脂身、マイワシ、サバ、ブリ
アスタキサンチン	生体内抗酸化作用、免疫機能向上作用	サケ、オキアミ、サクラエビ、マダイ
タウリン	動脈硬化予防、心疾患予防、胆石予防、貧血予防、肝臓の解毒作用の強化、視力の回復等	サザエ、コウイカ、カキ、マグロ血合肉

水産庁「平成29年版 水産白書」より作成。

Bさん そうですね。ここでグラフ2を見てください。これは、消費者が食の志向として挙げたものの中で上位の項目についての推移を示したものです。これを見ると、健康志向の値が高いことがわかります。

Aさん なるほど。魚介類を食べることは健康維持につながるということを消費者が理解していれば、魚介類をもっと積極的に食べるようになると思います。

Bさん その意見に賛成です。さらに私は、魚介類の消費量が減少している要因がわかれば、魚介類の消費量を減少させないようにするための手立てを提案できるのではないかと考えました。そこでもう一度グラフ2を見てください。簡便化志向の高まりが、他の志向と比べて顕著であることがわかります。

Cさん そうですね。私の周りにも、弁当を買ったり外食をしたりして食事を済ませる人がいます。

Dさん また、食の簡便化志向が高まっているということは、調理についても簡便化が求められているということでもあります。たしかに、魚介類は下処理をしたりさばいたりする必要があるので、肉類と比べて調理が面倒だと感じてしまいます。同じように考えている消費者は多いと思います。農林水産省によると、「魚介類」と「肉類」のどちらをよく購入するかという調査の中で、「魚介類」を選ばなかった人の理由として、「魚介類は調理が面倒だから」というものが挙がっていました。

Bさん 魚介類の消費量が減少している要因としては、調理が面倒だということが大きいと考えられます。消費者が簡便な調理法を知ることによって、魚介類を使った料理が食卓にのぼる機会が増えますね。

Aさん それでは、話し合いの内容をまとめましょう。表とグラフ2から考えると、魚介類の消費量を減少させないようにするために、消費者は.....ことが必要だといえます。

Dさん そうすることで、魚介類をもっと食べてもらえるようになりますね。こうしたことが、魚介類を主菜として食べる日本の文化を守ることにつながるかもしれません。

Aさん 次回は、肉類を食べることのよさについても調べた上で、発表の準備を進めましょう。

- (ア) 本文中の  に入れるものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
- 1 二〇二〇年度は二〇〇五年度と比べて、魚介類の消費量が十キロ以上少なくなっている
  - 2 二〇二〇年度の肉類の消費量は、二〇二〇年度の魚介類の消費量の約二倍である
  - 3 魚介類の消費量と肉類の消費量の合計は、二〇〇五年度より二〇二〇年度の方が多い
  - 4 魚介類の消費量は二〇〇五年度から三年ごとに約一キロずつ減少し続けている
- (イ) 本文中の  に適する「Aさん」のことは、次の①～③の条件を満たして書きなさい。

- ① 書き出しの 魚介類の消費量を減少させないようにするために、消費者は..... という語句に続けて書き、文末の ..... が必要だといえます。という語句につながる一文となるように書くこと。
- ② 書き出しと文末の語句の間の文字数が二十字以上三十字以内となるように書くこと。
- ③ 表とグラフ2から読み取った内容に触れていること。

(問題は、これで終わりです。)

